

校 歌

岩谷 嘉市 作詞
成田 為三 作曲

1. 秀麗の山鳥海は 久遠の雪の影淨し
浩滔の水雄物川 永遠に流れて色深し
この精靈の氣を亭けて 清淨たりや矢留城

5. 高く掲ぐる商神は 健児の意氣の象徴かな
ああ青春の血に燃えて 朝夕仰ぐ学舎の
心の故郷「秋商」を いざや謳わん諸共に

2. 義勇を誇る千秋の その城南の学舎に
巷の塵を低く見て 向上の意氣弥高く
國南の翼養える 健児雄々しき姿かな

3. 名も大平の峰の上に 燃ゆる希望の旭日影
老松暮るる城頭に 永劫告ぐる北斗星
崇き啓示を身に浴びて 自彊息まざる健児かな

4. 涨る霸氣を染め抜ける 旗幟鮮けし自治正義
校風四方に香ぐわしき この学舎に陸び合う
健児五百の渾身に 愛校の血ぞ波打てる

Allegro moderato

mf

1. 秀一れいのやま鳥一か一はく
5. たかくかかぐるしょーしんはけ

mp

おんのゆきのかげ一きよーし
んじのいきのしるーしーかーな

f

ーーとーのみず雄ーもーのがーわーと
ーーせいしゅんの血ーにーもえーてあ

ff

わーにながれていーろーふかーし
さゆうあおーぐまーなーびやーのこ

のせいれいのきーをーうけーて
ころのこきょうあーきーしょーを

ーじょーたりややどーめー城ーー
さやうたわんもどーとーもーに